学校番号	T3011

令和８年度　総合科

教科	総合	科目	（学）総合Ｂ	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	なし						
副教材等	プリント教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・進学、就職していくことを踏まえた内容を学びます。
・ソフトウェアを活用して自分を表現できるようになりましょう。
・さまざまな事柄に疑問を感じ、解決できるようになりましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
学習の過程において、疑問点の発見や解決に必要な知識及び技能を身に付け、新しい学習課題に関わる概念を形成し、学習の意義や価値を理解するようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
実社会や実生活と自己との関わりから疑問点を見いだし、自分で解決の道筋を立て、情報を集め、整理・分析 して、まとめ・表現することができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
学習に主体的・協働的に取り組むとともに、共に学ぶことと、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	各Officeの基礎的な知識やPCの活用法が習熟し応用的な活用方法できる知識・技能がついているかを評価する。	応用的な学習を通して、Wordで表現できるか、統計的な分析をする場合は、Excel を利用して、表計算やグラフ化することにより、道理的な思考判断、わかりやすい表現ができているかを評価する。	学習内容を発表するにあたり、個人あるいは複数人でPowerPoint を利用して、プレゼンテーションをするが、その時に、この授業に主体的に取り組めたか、また、他者と協力よくできたか、他者の発表も本人なりに真剣に聞く態度が見られたなどを評価する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	Word	Word 基本操作 例文の入力 時間割作成 本の紹介等	a:それぞれのソフトウェアの特徴を理解して、用途に応じて使い分けができる。また、各操作方法を理解し基本操作技術を習得している。 b: 課題に対して取り組み方が正しくできる。課題着手に際して正確に早く入力作業ができる方法を判断することができる。 c:入力練習に主体的に取り組めているか、自分なりに考えて文章の内容などを工夫しているかなどの態度が見られる。	課題 小テスト	発問に対する回答等	聴講時の様子 作業の様子等
		Word 自己紹介コメント				
後期	Excel	Excel 基本操作 表計算 関数				
	PowerPoint	PowerPoint 基本操作 スライド作成 調べもの学習 発表 振り返り				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度